

2007年度 立命館学校教育研究会 講演会

2007年7月29日（日）に、上野ひろ美奈良教育大学教授による講演会を開催いたしました。約100名の立命館学校教育研究会会員、教育関係の方々にご参加頂きました。今回は、講演会の様子をお伝えします。

～教職の専門性と授業研究～

【日時】2007年7月29日（日）14時00分～16時00分

【場所】立命館大学 衣笠キャンパス.

【講師】上野 ひろ美 奈良教育大学教授

【講師プロフィール】（奈良教育大学ホームページより）

1. 専門分野・研究テーマ

幼児教育・教育方法

・研究：

（1）教育における子ども理解のあり方についての基礎的研究を継続する。

（2）幼小接続について、遊びや生活科など総合的性格をもった活動を対象に、その構成と発展の視点、指導の観点を明らかにする。

（3）全体として、教育における教師の指導性とその発揮の仕方の究明を研究の核としている。

・教育：

（1）理論と実践の間を往復をするような学びをめざす。そのため、理論学習をおおいに促すとともに実践に触れる機会を提供する。

（2）授業において、建前でなく、実感に基づいた自己表現を求める。

（3）受験知識を人間学として再構築し、教育事実を原理的・一般的に把握できる力を培いたい。

2. その他

・中教審専門委員（大学分科会、初等中等教育分科会）

・大学設置・学校法人審議会専門委員（大学設置分科会）

・奈良県新長期ビジョン委員

・奈良県教育懇談会委員

・奈良県私立学校審議会委員

・奈良市社会福祉審議会委員 他

1. 先生の自信 ～フィンランドでの授業視察から～
2. 今日における代表的な教師批判
3. 授業の構造的把握
4. 授業研究
 - (1) 日本の授業実践史
 - (2) 全国授業研究協議会（「全授研」）
 - (3) 授業研究、授業分析法、授業記録、教育実践記録
 - (4) 校内研の継承、本来「実務家教員」と称されるべき先達群
5. 教職の専門性
 - (1) 専門職性（理論と実践の融合・連携・架橋 ～役割分担ではなく～）
 ※説明科学に対し、教育実践構築の観点からの明確な言語の必要性
 - (2) 問題解決型の学び
 - (3) 教科指導と生活指導の一体化
 ※関わりと集団の教育力への着目（コミュニケーション・スキルを強調しつつ、関わり（集団）のもつ学びの形成と人格形成作用が軽視されがち）
 - (4) 教材開発・学校カリキュラム開発
 - (5) 学校の組織化（校内研修、学校支援、地域のなかでの学校）
 ※学校職場における同僚性に基づく教育力の低下、チームワーク、組織としての教育力
 - (6) 「授業力」の形成
 - (7) 「人間力」（教師論）
6. 教員養成とめぐるさまざまな議論
 - (1) 教養教育と専門教育
 - (2) 制度論と実質論
 - (3) 教科専門と教科教育の協働
 - (4) 現場教育
7. 教師教育と教員養成

【参考文献】

日本教育方法学会『現代教育方法辞典』図書文化 2004
 日本教育方法学会『教育方法』（明治図書、図書文化）各年